



研究主題

豊かに生きる力の育成
 ～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 主題名 自分の良さ【A 個性の伸長】

2 教材名 「ええところ」(あたらしいどうとく1 東京書籍)

3 本時のねらいとキャリア教育を通して育みたい力

低学年の基礎的汎用的能力(夢4)		本時のねらい
人や社会と 関わる力  【人間関係形成・ 社会形成能力】	・自分の思いを友達に 伝える力	自分の特徴に気付き、長所を大切にしようとする心情を 育てる。
自分を みつめる力  【自己理解・ 自己管理能力】	・周りからよいところ を教えてもらい、自 分のよさに気付く力	

4 部会提案

(1) 児童の実態と教材観

本学級の児童は、友達への興味・関心が高い。友達が上手にできた時には、「すごい！」と褒めたり、苦手なことに取り組む友達に対しては、「頑張っ。」と応援したりする児童が多い。

学年では、1学期に「ともだちとなかよくなろう」の授業を学級活動で行った。みんなと仲良くなるためにはどうしたらよいか考え、立てた作戦を実行した。その際、「友達のことをもっと知りたい。」「みんなと一緒に遊んで仲良くなりしたい。」などの意見が出ていた。また、2学期から帰りの会で友達の良かったところを発表する活動を行っている。発表内容としては、「優しさ、思いやり(～してもらって嬉しかった。)」 「努力(～最後まで頑張っていた。)」 「技能(～が上手だった。運動、音楽、図工等)」などが挙げられていたが、「優しさ、思いやり」「努力」について発表している児童が多く、それに次いで、技能面で秀でていところを見付けられている児童が多かった。

また、本授業を行うにあたり、児童が自分の良さをどう捉えているかを把握するために、事前アンケートを実施したところ、次のような結果になった。

【質問】 あなたの「いいところ」はどこだと思いますか。

- わからない・ない (7人)
- 技能 (3人)
 - ・お絵描きが上手
 - ・計算が得意
 - ・漢字が得意
- 態度、礼儀 (1人)
 - ・真面目なところ
- 努力 (2人)
 - ・失敗しても頑張り続けるところ
 - ・あきらめずに頑張れるところ
- 優しさ・思いやり (18人)
 - ・優しい 10
 - ・困った人を助ける 4
 - ・けがした友達に声を掛けた 2
 - ・友達にものを貸してあげる
 - ・お手伝いをすすんでする
 - ・友達にゆずってあげる
- その他 (3人)
 - ・元気なところ
 - ・友達となかよくできる(3人)

※回答人数：34人 複数回答あり

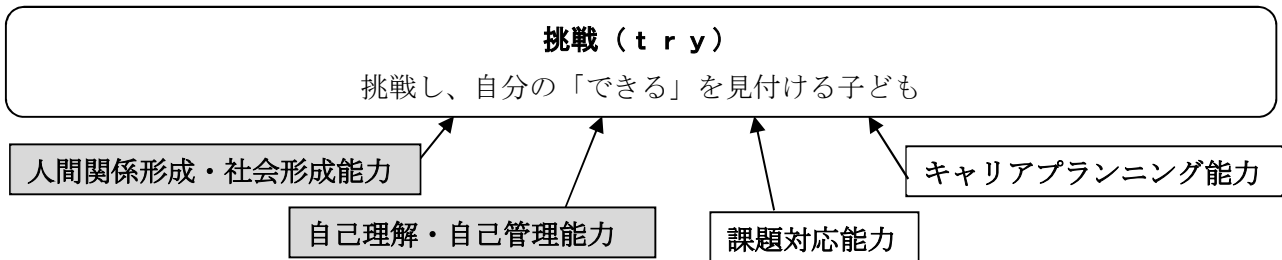
自分の良いところをすぐには思いつかない児童もいたが、「優しさ・思いやり」と答えた児童が半数以上いることが分かった。本時の展開の後半で行う、「いいところカード」から友達が見付けてくれた自分の良さを知る活動を取り入れ、「わからない・ない」と答えた児童も、自分の良さに気付けるようにしたい。

本教材は、自分には「ええところ」が一つもないと思っている「あいちゃん」が主人公の教材である。あいちゃんは、親友の「ともちゃん」や、クラスの友達との関わりの中で、自分の本当の良さを見出していく。自分の「ええところ」を見付けてもらったあいちゃんの気持ちを考えることを通して、自分の良さを実感したときに得られる喜びを、十分に味わわせたい。




また、自分だけでは見付けることができない自分の一面があることに気付かせ、友達と互いに良さを認め合うことの大切さについても考えさせたい。

キャリア教育の視点では、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」を育んでいきたい。友達の良さを見付けたり、友達が見付けてくれた自分の良さを知ったりし、これまでは分からなかった自分の良さに改めて気付くことで、自分自身の「なりたい自分」の実現のために、自分の良さを大切にしてい気持ちをもてるようにしたい。

(2) 低学年の目指す児童像



(3) 目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】：より自分のことを考えられるように</p> <p>○ 他の教育活動との関連</p> <p>帰りの会で、友達の良かったところや頑張ったところを発表し合う活動を2学期から継続して行っている。終末では、過去に発表された内容を取り上げ、想起できるようにし、今後も友達とお互いの良さを大切にしていける気持ちを高めたい。</p> <p>○ 「いいところカード」の活用</p> <p>事前の学級活動で、友達の良いところをカードに書く活動を行うことで、帰りの会で発表できない児童にも友達に伝える機会を作り、全員が友達の良さに目を向けることができるようにする。本時では、友達が書いてくれた自分の「よいところカード」を読み、自分の良さに改めて気付くことができるようにする。</p>	<p>【夢4】</p>  
<p>【手だて2】：教材の世界に浸るために</p> <p>○ 教材提示の工夫</p> <p>スライド資料を使用して教材提示を行うことで、児童が教材の世界にスムーズに入れるようにする。また、BGMを使用することで心に残る教材提示を行う。</p>	<p>【夢4】</p> 

5 本時の学習（1時間扱いの1時間目）



(1) 本時のねらい

自分の特徴に気付き、長所を大切にしようとする心情を育てる。

(2) キャリア教育の重点

◎「よいところカード」での友達の良さを伝え合う活動を通して、自分の良さを大切にしていこうとする気持ちをもつ力を育む。【自己理解・自己管理能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分	1 自分の良さについて、事前アンケートを基に想起する。	アンケートを提示	○事前アンケートの結果を提示する。 ○「わからない」という回答から、自分の良さを見出せないあいちゃんの話であることへと繋げ、教材への興味を高める。
展開 35分	2 教材「ええところ」を読んで話し合う。	【全体】	○スライド資料により、絵本の場面絵を活用して提示する。BGMを活用する。 
	☆手が温かいところが「ええところ」だと言われて、あいちゃんはどんな気持ちになったでしょう。 ・私にも「ええところ」があつてよかった。 ・「ええところ」を見付けてもらえて嬉しい。 ・みんなに手を握ってほしいな。	【全体】	○「ええところ」なんか一つもないと思っていたこと、ともちゃんが「あしたまでにかんがえるわ。」と言って帰ってしまったことなどを押さえてから自分の良さを見付けてもらって嬉しい気持ちに共感できるようにする。
	☆「あつたかくない。というか、つめたいねん。」と言われたとき、あいちゃんはどんな気持ちだったでしょう。 ・どうしよう ・いいところないのかな	【全体】	○自分の良さを見失い、落ち込むあいちゃんの気持ちを押さえる。
終末 5分	★ともちゃんに、「いちばんええところ」を見付けてもらったとき、あいちゃんはどんな気持ちになったでしょう。 ・やっぱり私にも「ええところ」があつたんだ。 ・一番良いところを見付けてもらえて、嬉しいな。 ・ともちゃん、私の良いところを見付けてくれてありがとう。 ・これからも、みんなに優しくしよう。	【ペア】→【全体】 役割演技	○役割演技により、あいちゃんの気持ちをより深く捉えられるようにする。 <u>ともちゃん</u> あいちゃん役の手を握り、台詞を言う。「みんなに優しいのが、あいちゃんの一番ええところや。」 <u>あいちゃん</u> ともちゃんの台詞を聞き、どんな気持ちかを考える。 ●自分の一番「ええところ」を見付けてもらったあいちゃんの気持ちについて考えることができたか。(発言)
	3 自分の「いいところカード」を見て、自分のいいところについて考える。 ☆友達に書いてもらった「いいところカード」を見て、思ったことを書きましょう。	【個人】 ・ワークシート ・いいところカード	○友達に書いてもらった「○○さんのいいところカード」を貼り付けたワークシートを活用する。 ●自分の良さに気付き、その良さを大切にしていこうとする気持ちをもつことができたか。 <u>(ワークシート、発言)</u> 
	4 教師の説話を聞く。		

★…中心発問

※波線はキャリア教育の視点

6 板書計画

ええところ

あしたまでに かんがえるわ。

あいちちゃんので、すごく あったかい。 クラスで いちばんや。

あつたかない。 あつたかないねん。 というか、つめたいねん。

ええところがあつて よかった。 うれしいな。

どうしよう。 手がつめたくなって かなしい。 もうわたしには、 ええところ ないのかな。

「いちばん ええところ」を 見つけてもらったとき、 あいちちゃんは、どんな気もちに なったでしょう。

みんなに やさしいが、あいちちゃんの いちばん ええところや。

ほんとうの 「ええところ」が 見つかった。

ともちゃん、ありがとう。

これからも、やさしくしよう。

「いいところカード」を 見て、 おもった ことを かきましよう。

いいところに 気づいた。

これからも がんばろう。

ともだちの いいところも 見つけよう。

